

# ONLY ONE ONLY ONE

平成28年 3月24日 発行 (NO. 12)

桐蔭中学校 保健室



世界にひとつだけの あなたのこころ・からだ・いのち

## いのちの授業

3月11日金曜日、全校生徒を対象に「いのちの授業」を行いました。

- 「あなたは今、幸せですか」
- 「あなたは今、人をいじめていませんか」
- 「あなたは今、悲しみを持っていませんか」



このような語りかけから始まり、矢田美由紀さんによる朗読、新美南吉 [作] 鈴木靖将 [絵] 「でんでんむしのかなしみ」、大槌町大槌中学校2年 黒沢奈緒佳さんの「バイバイ」、保健委員会による「命を守ろう」というプレゼンテーションを企画しました。

この「いのちの授業」の企画にあたっては、多くを語らず、生徒一人一人が置かれている環境や心情を大切に、朗読を通してそれぞれの感性で「命の大切さ」を感じて欲しいと願ったからです。

この「でんでんむしのかなしみ」の絵本は、皇后陛下（美智子さま）の一番好きな絵本であり、「人生の複雑さを学んだ本」でもあったそうです。そして、その後、幾度の困難な出来事のあるときに、「でんでんむしのかなしみ」の絵本が記憶に蘇り、また、「私にとり、子ども時代の読書とは何だったのでしょうか。それは、あるときには私に根っこを与え、あるときには翼を与えてくれました。」と話されていたことを知り、この絵本を選択しました。

「誰だって悲しみをいっぱい背負っている。皆その人なりの悲しみに耐えて生きているのだ。自分だけと嘆いていても仕方がないこと、自分だけじゃないのだ、人生はそのようなものだから。そして、他人の悲しみを気づける人になりたい、寄り添う気持ちを持ち続けたい」

このように、自分の置かれている状況と照らし合わせて考えたり、被災された人のことを想って感じたりした生徒の感想が印象的でした。

もうひとつの作品は、同年代の中学生が、いつもと変わらない生活が、一瞬のうちに、一変した様子を手記に残したものです。矢田さんの朗読と伊達さんのピアノ伴奏が、全校生徒の心に染みわたり、「命の貴さ」を実感し、感動し、なかには、すすり泣く声や泣きそうになるのを堪えた生徒もいたようです。

それぞれの感想は、すべてを紹介したいと思うくらい素晴らしい感想でした。矢田さんも「皆さんのメッセージや感想を宝物にします」とおっしゃっていました。一部を紹介します。

### ＝生徒の感想＝ (一部抜粋)

この絵本「でんでんむしのかなしみ」の読み聞かせで、僕が感じたことは、人は生きていく以上、絶対にかなしみを持っているのだなあということです。もちろん、自分は持っていますし、友達のかなしみの声を聞くことがあります。この絵本により、改めてそう思いました。(男子)

この絵本を聞いて、悲しいことや辛いことは誰にでもあって、それを感じているのは自分だけではないよと言っているように思いました。悲しみなどを感じているときは、自分ひとりで抱え込みがちで、誰にも相談できず、ひとりぼっちに感じる人が多いけれど、自分は、ひとりじゃないと思えるだけで、だいぶ楽になるのだなと思いました。(女子)

もう、東日本大震災から、5年もたったということに驚きました。あの日、僕は、小学4年生で、TVでたくさんの命が失われる様子を見ていました。あの頃は、まだ子どもで、大変やろうなあとか、悲しいだろうなあという気持ちはありましたが、他人事のように感じていました。しかし、成長するに連れて、命の重みを理解することができるようになってきました。今回の「いのちの授業」でも、たくさんの命が失われ、その人々の思いを知って、胸が痛くなりました。亡くなった命を生き返らせることはできません。けれど生きている命を輝かせることはできます。たくさん生きていたかったのに、生きられなかった人々の分も頑張って生きていきたいです。(男子)

今自分が毎日「普通」に行っていることは、5年と1日前には、東北に住んでる人も「普通」に行っていたはずだ。たった1日で「普通」が「普通」でなくなってしまうのは恐ろしいことだと思った。今日学んだことを忘れず、日々防災意識を高めていきたい。(女子)

今日の朗読を聞いて涙が出た。いつ来るかもわからない地震や津波。常にいつでも避難できるように準備しておこうと思った。まずは、自分のため、家族のために「自分の身は自分で守る」ことを大切に、状況判断し、行動しようと思った。(女子)

今年度、より健全な自尊心を高めるため情操的態度の充実を図るために、「命の大切さ」をテーマとして取り組みました。  
3年生を中心に、1つ目は妊婦さんによる「生まれてくる命」について、2つ目は和歌山県立医科大学保健看護学部の学生による「命を守るための救命指導」について、3つ目は読み聞かせと保健委員による「防災と命」の3つの視点から、趣向を変え「命」について指導を行いました。  
広い視点で命を捉え、そのなかで一つ一つ深く考えさせられる機会を生徒たちに与えられたことについて良かったと思いました。また、保健委員も防災について一生懸命取り組み、素晴らしい発表をしてくれました。  
生徒たちの感想より情操的な態度を育成するための指導は、大変生徒たちの心に響くものがあったと感じました。